



米沢有為会 仙台支部だより

第 27 号

令和4年6月10日

発行者

(公社)米沢有為会仙台支部

支部長 甲 國信

仙台市青葉区角五郎2-6-21

TEL 022-222-4790

新入寮生（左側の二人）を迎えて全員集合

2022.6.2

有為会の近況

コロナ禍の中、会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。令和2・3年度は総会はじめ会員交流行事を開催することができませんでした。

今年も状況は変わっていません。先行きは分かりませんが、4回目のワクチン接種が進み始めたことを希望とし、1日も早く元の状態に戻れることを願って不自由な生活に耐えましょう。会の近況を以下に報告します。

倉庫募集活動… 残念な事に、例年行ってきた置賜の高校における仙台興讓館寮の説明は、コロナ禍のため取りやめになりましたが、昨年始めには滝口館長制作の仙台興讓館の案内動画が You Tube にアップされ、サイトには566名(6・5現在)の訪問者があり、置賜における説明会の中止を補うことができたと考えています。しかし令和3年春の応募者は2名、入寮者は1にとどまりました。また昨年8月山形新聞の簡易広告(スイング)に中途入寮生募集の広告を2回掲載しましたが全く反応はありませんでした。令和4年春の応募者・入寮者は2名で、現在寮生は7名と定員の

半分です。

今年4月育英事業部が寮生にアンケート調査を行い、入寮を決めるにあたっては両親の勧めが大きいと全員が答えています。高校を訪問しての父兄への寮の説明の必要性を痛感します。

仙台興讓館の施設整備… 130周年記念事業としての仙台興讓館の改修は令和元年に実施済みですが、2年度は当初予定していなかった次の二つの工事を実施しました。

①トイレの改修(10月)… 新寮母を迎えるにあたり、1階の和風トイレ2カ所を合体し、女子専用トイレ(洋式)1カ所に改造しました。工事費 470,000円 排水管の切り替え施工で、全体的に腐食が進んでいることが明らかとなりましたので、4年度は1、2階の既存旧型洋式便器交換と劣化している接続配管の交換、加えてほとんど使用していない和風トイレを今回のように洋式へ改造する事を本部へ提案し見積もりを提出しました。

② 厨房の漏水(令和2年12月)… 厨房の床下の排水管が損傷し漏水が発生。厨房より低い位置にある部屋まで達し寮生が悪臭に気付き緊急工事となりました(工事費 95,700円)。業者は、10年前の東日本大震災の後遺症

(埋設部の沈下)と思われる。今でもこの様な工事はよくあると話していました。なお、①、②の工事は加川理事の尽力で実施できました。感謝します。

厨房の水道管の漏水が本年1月初めにあり、漏水箇所水道管を切り取り新しい管を接続しました(25,000円)。ちなみに仙台興譲館の竣工は昭和62年(1987年)で、築35年経過しました。

会員異動：昨年の総会以降

退会 1名 [正会員1名]

入会 2名 [賛助会員2名]

現在の会員数 84名 [正会員43名、賛助会員40名、法人会員1名]

令和4年度支部事業計画(案)

仙台興譲館の改修：①2階トイレのほとんど使用していない和風トイレを洋式に改造する見積もりを提出しました。43,3000円

③ 厨房ガスコンロ・水栓・換気扇の交換。82,000円 以上2件の見積もりを提出しています。

なお、どこまで予算がつくかは未定ですが、本部では寮生から集めた施設整備費の利用を考えているようです。

舎生募集活動：現在の寮生数7名は、

円滑な寮の運営には少な過ぎます。来を待たずに、年度途中でも寮生募集を試みたいと思います。方法としては、昨年は山形新聞の簡易広告(スイング)を出しましたが、他にいいアイデアがございましたら、お知らせください。

コロナ対応マニュアルの策定：昨年4月に東京寮で濃厚接触者が出たとの知らせは、他人事ではなく重く受け止めています。滝口館長は直ちに寮長に会ってこのことを伝え、掲示で注意を喚起しました。仙台支部には濃厚接触者や感染者が出た場合の対応マニュアルがありません。いざと言う時に速やかに対応できる様、マニュアルの作成を検討します。

会員増強：これまで長い間会を支えて来られた年配の会員の高齢化が、今後の大きな減少要因となることは確実にしよう。今年度の会員増強は舎生OBの入会を重点としたいと思います。

支部だよりの発行(年2回)：コロナ禍の下での支部からの情報発信と会員間の交流に、支部だよりは重要な役割を果たします。今年度も2回の発行を目標にします。

(仙台支部長 甲 國信)

新入寮生の感想文

大学に入って今後の決意

菅 桜太郎

皆様はじめまして。東北大学経済学部1年の菅桜太郎です。拙い文章ではありますが、仙台での生活についていくつか書かせて頂きたいと思えます。

まず私は念願であった東北大学に合格し将来への期待感が高まる一方で新生活に対する一抹の不安も抱いていました。しかしその不安は杞憂だったようです。仙台の街は大都市にしては緑が多いという話は聞いていましたが実際にその通りで、寮がある角五郎も近くを川が流れ緑が多くあるという環境でストレスなく生活することが出来て

います。更に寮の皆さんにも非常に良くしてもらっています。例えば寮母さんには朝夕と美味しいご飯を作ってくださいるなど様々な場面で配慮していただいております。

また私自身、長井高校出身で寮生の中に先輩が居なかつたことも不安要素の一つだったのですが、先輩方からコミュニケーションを取って下さる場面が多くあつて置賜人の温かみを改めて実感することとなりました。現在の社

会情勢の影響で制約を受ける場面こそありますが、総じて私は仙台興譲館寮に入寮することが出来て本当に良かったと思います。

そして肝心の大学生活についてですがようやく生活リズムにも慣れてきました。最初は受動的な学習を行ってきた高校と本人の主体性が求められる大学とのギャップに戸惑いがありましたが、2ヶ月間で何とか適応出来てきました。また陸上部に入部し、最近はとても充実した大学生活を送ることが出来ています。その中で私が大学に入って一番実感したことは自分を律することが重要だということです。正直自分が想像していた以上に大学生には時間があります(文系学部は特に顕著に)。「大学は人生の夏休み」と形容されることがあるように確かに遊ぶなどして楽しんで良い期間なのかもしれません。しかし、だからこそその時間を如何にして自分の将来に繋げるための有意義な時間にするのか、高校時代に思い描いた大学生活にするのかを意識していきたいと思えます。

私の大学生活での目標としては日本の社会構造を経済の観点から分析するというものがあります。また東北地方の中では最も優秀な人材が集まりその人達と切磋琢磨したいという思いから東北大学に入学したので掴み取ったチ

ヤンスを生かせるように努力していきます。最後になりますが、私は仙台興讓館寮という恵まれた環境で精一杯勉強にも部活にも励んでいきたいと思えます。長い文章になりましたがここまで読んでいただきありがとうございます。

野球部入部と将来の目標

杉山 綾汰

この春から米沢有為会仙台興讓館に入寮しました、東北大学工学部材料科学総合学科1年の杉山綾汰です。入学、入寮から約2ヶ月が経ち、仙台の街にも慣れ、充実した大学生活・寮生活を送っています。

私は今、自転車ですら5分ほどかけて東北大学川内キャンパスに通っています。一年の前期の段階では教養科目が中心で、今後の自分の専門分野の研究に向けて基盤となるような知識や学力を身につけようと勉強に励んでいます。私の履修している科目はほとんどが対面授業であり、未だ新型コロナウイルスの影響で多少の制限はありますが、大きな支障は無く、満足のいく学びを得ることができています。また、部活動やサークル活動も同様に、大きな制限なく行われており、学習以外の面でも充

実した生活を送ることができています。私は4月に学友会準硬式野球部に入部しました。週4回キャンパス内で練習を行なっており、つい最近までは春季リーグ戦で他大学との試合も行っていました。サークルに所属するよりも多少ハードな生活にはなりますが、高校まで続けてきた野球を大学でも続けたいという思いがあり、また、試合での勝利を目指した、本気度の高い環境に身を置いて野球に打ち込みたいと思い、入部を決意しました。自分と同じような志を持つ仲間と楽しく、熱く活動できている。高校の時のような情熱を持って野球ができる環境に幸せを感じています。

興讓館寮ではとても快適な毎日を送ることができています。実家から離れて暮らすことに対して不安がある中、朝、夜に栄養価の高い美味しい寮母さんの料理を食べたり、地元が近い先輩方の近くで生活したりすることができているのはすごく大きいです。大学や仙台中心部にも近く、とても生活しやすいです。環境が整っているのも、学習にも集中することができています。

まだ大学生活が始まったばかりですが、私には大きな目標が二つあります。一つ目は、4年生の研究室配属の時に、金属研究所の研究室に配属することです。東北大学の金属研究所は、材料工学

において、国内ではもちろんのこと、世で見てもトップクラスの研究実績を誇っています。世界トップクラスの環境に身を置いて、自分の興味のあることをとことん研究したいという強い思いがあります。また、様々なものの基盤となっている金属材料を研究することで、材料分野から諸環境問題にアプローチしたいという思いもあります。金属研究所配属に向けて、専門教科を中心として、1年生のうちから、志を高く持つて勉強に励んでいきたいと思っています。二つ目は、在学中に準硬式野球東北地区一部リーグで優勝し、全国大会に出場することです。東北大学はここ数年、全国大学出場から遠のいています。まずは自分の技術を向上させ、全国レベルの実力を身につけることを目標にして日々の練習に励み、それからチーム全体に良い影響を与えられるように、行動で示せる選手を目指していきたいと思っています。

こんなに時間に余裕があり、いろいろなことに本気になれるのは、大学4年間だけなので、悔いの残らないよう、毎日を大事にして、大学生活を送っていききたいと思っています。

仙台支部年間行事予定

※仙台興讓館行事

■ 4月3日(日) 大掃除・寮生総会

■ 4月

※春の交流会(寮生会主催) (会場: 仙台興讓館)

■ 6月

令和4年度仙台支部通常総会 中止

※6~7月前期リレーション行事

■ 6月25(土)

令和4年度米沢有為会定時総会

会場: 東京興讓館

(役員少数で実施)

■ 8月以降の支部行事

夏の交流会(七夕前夜祭・広瀬川原花火鑑賞会) 中止

秋の交流会(芋煮会) 中止

※9月25日(日) 大掃除・寮生総会

※11月 後期リレーション行事

■ 12月

※忘年会(寮生会主催) (会場: 仙台興讓館)

※1月上旬 第一次入寮面接

※1月14日(土) どんと祭

■1月

※新年会兼卒業生歓送コンパ（寮生会主催）（会場：仙台興譲館）

※2〜3月 温泉旅行又は食事会
1 2月以降の行事は未定か中止

※3月上旬 第一次入室面接
※3月中旬 第二次入室面接
※3月下旬 第四次入室面接
※3月 末日寮生総会

仙台興譲館だより

仙台興譲館寮生名簿

菅 桜太郎（東北大学経済学部1）

【長井高R4卒】白鷹町出身

杉山 綾太（東北大学工学部材料科学総合1）【長井高R4卒】小国町出身

目下 和也（東北医科大学薬科大学薬学部2）【米沢興譲館R3卒】

高島町出身

鹿又 桂司（東北大学経済学部3）

【米沢興譲館R2卒】南陽市出身

鈴木 優（東北学院大学経済学部3）

【米沢商業R2卒】米沢市出身

◎令和4年度前期 寮長

二瓶 太陽（東北福祉大学総合マネジメント学部産業福祉マネジメント学

科4）米沢東H28卒 米沢市出身

渋谷 拓（東北大学大学院情報科学研究所M2）【米沢興譲館H29卒】米沢市出身

【卒業生】

小形 祥史（東北福祉大学健康科学部リハビリテーション学科）【米沢興譲館H29卒】川西町出身

伊藤 真蒼（東北大学工学部化学・バイオ学科）【米沢興譲館H28卒】米沢市出身

■寮母 桶川 幸江さん

寮の近隣の植物

二居沢とスエコザサ

寮の庭の植物もそろそろ種切れになってきたので、外に出てみよう。北に300mほど坂を上ると1608年に伊達政宗により建立された国宝の大崎八幡神社、南に向かい牛越橋を渡って右折して200mほど行くと三居沢に着く。水力発電所があり1888年(明治21年)東北で初めて電灯を灯し、今も現役で稼働している。

来年4月からのNHKの朝ドラで「日本の植物学の父」と言われる牧野

富太郎を取り上げた「らんまん」が放映されることになったが、ヒロイン富太郎の妻寿衛子を演ずるのが浜辺美波だそうだが、寿衛子とこの三居沢は非常に深い関係にあり、それを説明しよう。牧野は5回宮城県に植物採集に来ていたが、2回目の1927年12月1日三居沢でアズマザサに近似の新種のササを採集している。妻寿衛子は翌年の1928年2月54才でその生涯を閉じている。その新種のササに牧野は、和名スエコザサ、学名Sasa suwekoana Makino と亡。



縦のナマコ状しわ スエコザサ アズマザサ オクヤマザサ

くなつた奥さんの名前を記載した。命名する時、中央の種小名に発見者や研究者の名前を記載することはよくあることであるが、奥さんは珍しい。

写真は三居沢で採ったスエコザサと寮の庭に生えていたアズマザサと亀岡の東北大学の北側で採ったオクヤマザサである。写真で見てもわかるが左の二つは大きさも形も似ている同じアズマザサ属に分類される。右のオクヤマザサは幅が広く、普通はもっと長くチマキザサと同じササ属に分類されている。日本海側の米沢にはアズマザサ属は見られない。スエコザサの特徴は縦のナマコ状のしわ、あるいは洗濯板状に波打ち、若い葉は裏に曲がると図鑑には出ている。ナマコのしわ、洗濯板の波打ちは今の人には理解が難しいので断面図で示したが図のようには深くはない。スエコザサは現在はアズマザサの変種に分類されている。

三居沢には他にも不動尊、青葉山から流れ落ちる滝、根元から2本に分かれた夫婦杉があり、ネットで見ると心霊スポットにもなっているらしいので是非一度見学してほしい。(滝口館長)

編集後記：新型コロナウイルスの影響で会員の皆様に2年半以上お会いしていません。ワクチンで早く納まりますように。

責任者 滝口政彦